

■ IPEC21 - 2005

『 5 回目を終えて 』
インテリアのプロと企業をつなぐ国際展示会とセミナー・IPEC21 - 2005 も 5 回目を迎え、“ひと・環境・デザイン”をメインテーマに 9 月 28 日（水）～ 30 日（金）の 3 日間、東京ビッグサイトにて開催いたしました。“継続は力なり”の言葉通り 4 年間の実績と経験で、素晴らしいエキジビションを開催することが出来ました。今年 は 156 社・団体（142 ユニット）が出展し、デザイナーズ・ショーケースには招待デザイナーの 5 チームを含め、27 チームのデザイナーと企業が参加いただき、3 日間で 16,804 名の方々の来場をいただきました。この展示会は JIPA/日本インテリアプランナー協会の主催ではありませんが、JIPAT の会員の方々の献身的な努力なしでは成功を収めることは出来

ません。会員の皆様には心よりお礼申し上げます。

毎年 IPEC21 は展示の企画と内容のレベルが上がってきています。展示のデザイン、設営の方法、撤収の工夫などほかの展示会では見られない、環境への配慮を考えて企画をされている企業が多いのがこの展示会の特徴です。今年もインテリアを創るための素材や製品、そしていろいろなエレメントが展示され、新たな提案がされました。しかし、一般展示の表彰では IPEC 大賞の該当者がなかったのが残念なことでした。

「デザイナーズ・ショーケース」は今年も意欲的な作品が多く出品され、充実した展示となりました。東京デザインセンターの船曳鴻紅さんと、建築ジャーナリストの鈴木紀慶さんの審査によって大賞、優秀賞、特別賞と 10 作品が選ばれ表彰され、来年 1 月 5 日からパリで開催される「ムー

ブル・ド・パリ」に恒例により出展することが決まりました。

コンファレンス、セミナーは特別講演として、日産自動車の中村史郎さんをお迎えして、日産インテリアデザイン「モダンリビングコンセプト」と題し、ニッサンのデザインへの取り組みを、特にインテリアに注目してお話いただきました。さらに、一線で活躍されているデザイナーのセミナーが 8 講座生まれ、実践に沿ったテーマが発表され充実したコンファレンスとなったようです。

そして、今年初めての試みである「40 Chairs」は、名作の椅子を改めて見直すよい機会になったのではないのでしょうか。

第 6 回は 2006 年 10 月 11 日～ 13 日に開催されます。

2005 年 11 月 IPEC21 実行委員会
委員長 中川 誠一

■ JIPAT 主催 IP 資格試験／設計製図実技試験対策セミナー実施報告

事業委員会では、11 月 20 日の IP 資格試験に向けての設計製図実技試験対策セミナーを 10 月 15 日（土）に実施した。第一回の試みのため 20 名限りとし、短期日での募集となったが、17 名の申込みがあり実際には 16 名の参加をえた。セミナーの構成は

<午前の部>：代官山で販売中の集合住宅「The 目黒」（設計：株式会社松田平田設計）モデルルームで実際の空間・場を確認しながらのプラン、動線、スペース、家具配置等の解説指導

<午後の部>：汐留の「National Center 東京」・松下電工株式会社の会議室を借り、①平面図作成の注意点などポイントを、ショールームでのキッチン現物確認を含めながら、課題の趣旨に沿った住戸全体として詳細再説、②透視図の簡便な作成方法とパース表現の要領を、実習を通して実践的に指導した。

一流のインテリアプランナーである事業委員の講師陣 6 名が 16 名の受講生をマンツーマンで指導する様は、傍で観ているだけでも圧巻で会場は熱気に包まれ 19 時 30 分終了。-



盛り沢山な内容を 1 日で、のかなりハードなセミナーとなった。未経験者が多数おられたが、試験日まで十分に自習し是非合格される事を期待したい。

記：事業委員会委員 岡田優

■ 途中下車

ご本人にお会いしてみると、ひたすら謙虚で奥ゆかしい方でした。今やフラワーアレンジメント・テーブルコーディネーターの第一人者に最も近い方である浜さんに今回はお話を伺いました。プロフィールは、英国王室デザイナーのメリー・アダムスに師事しガーデニング、インテリアデザイン、テーブルセッティングを教わり、食空間プロデューサー丸山洋子氏に師事、また外資系企業（ロイター、GM、GE、メルリンチ、プライスウォーターハウス、オーストラリア政府観光局、オーストラリア小麦庁等）で日本語講師を務める傍ら、恵泉フラワースクール、英国コンスタンスプライフラワースクールでフラワーデザインを学ばれた努力家でもあります。これからの時代はどんなインテリア空間が大切だと思いますかとお尋ねしましたら、以下のようなお話を頂きました。… 21世紀

は感の時代になるといわれています。ITグローバル化が進み、瞬時に情報が入り、モノもあふれ、顔の見えない相手とも容易に通信できる時代になってきましたが、一方、人と人がコミュニケーションを深めていくこと、心豊かに生きること、それには個人の情緒や、感性が大切です。しかし、感性とは単に好きとかセンスがいいとかでは語れません。分母となりうる理論に裏づけされた、誰もが納得できる「ものさし」となりうるデータが必要です。私はそれを基に、マーケティング、イメージ、カラーなどお客様の感性、嗜好、ライフスタイルをマッチさせ、ともに考えながらひとつのオリジナルのデザインを作り上げます。そしてお客様がその場において「心地よい」「癒される」「五感に響く」と感じていただけることが最大の喜びです。これからの予定として 横浜山手西洋館 111 番館で、(12月1日から25日まで)スウェーデンのクリスマスの依頼を受け、

北欧の聖夜に相応しい透明感あふれる洗練されたクリスマスを演出いたします。111番館(横浜市指定文化財)はJ.H.モーガン設計(旧丸ビルの設計のため1920年来日)でスパニッシュスタイルの洋館です。そこで私、浜 裕子が 聖夜に煌くスウェーデンのクリスマスを演出いたします。是非ご来場お待ちしております。11月17日～20日 晴海トリトン、J-ホームスタイルで「モダンリビングクリスマス」～和風に聖夜を彩る～を演出します。花生活空間が贈る和を軸に新しいクリスマスとお正月のしつらいのご提案。浜裕子セレクト「花生活空間スタイル」のテーブルトップ・花器・小物雑貨・ギフトなどのお買い物もお楽しみください。会期中は セミナー&パーティーやフラワーアレンジメント講座も行っています。お問い合わせ先: J-ホームスタイル <http://www.j-homestyle.com>

コーディネイトのご予算は、まず10人程度のホームパーティーについてですが、※演出のみ、プランニングのみといったご依頼でしたら、そのボリュームによって変わりますが5万ぐらいから承ります。※お料理(シェフを呼ぶ場合、ケータリングなど、デリ、お取り寄せなどあります)も含めての場合は15万円からお客様のご要望に応じて、オーダーメイドのパーティー企画となりますので、お見積もりは、ヒアリングをさせていただいてから 概算のお見積もりをさせていただいております。会社の新作発表、落成式の壇上の飾花なども3～5万円から承れると思います。周年記念パーティー等 ご予算、ご希望に応じて会場のお手配から承っておりますので、どうぞお気軽にご相談くださいませ。

生活空間 <http://www.hanakukan.jp/>



■【第22回インフォメーションの会】報告

去る9月15日(木)、「第22回法人会員インフォメーションの会」がカンディハウス東京ショールームにて開催されました。今回のテーマは「もっとクリエイティブに」。会員交流委員会副委員長・河原孝さんの司会進行により、(株)カンディハウスの青沼豊さん、ソルーシアジャパン(株)の河原伸自さんに発表していただきました。

(株)カンディハウス/青沼さん【ロングライフデザインについて】

常に流動するマーケットニーズに対応し続けるために、また商品のオリジナリティ(個性)とその鮮度を保ち続けるために、一つの商品をいかに進化させてきたか。デザイナーと製作者が一体となって技術を駆使し限界に挑戦する様や、ロングライフデザインの大切さ、物作りの姿勢など、とても情熱的に語っていただきました。

ソルーシアジャパン(株)/河原さん【合わせガラスの可能性について】

防犯用というイメージが強い合わせガラスですが、インテリアや建築の素材・材料としての可能性について、そして既に海外で実践されているインテリア空間の事例について、具体的に映像を交えて解説していただきました。

合わせガラスが秘める大きな可能性に、皆さん興味をもたれたようで大変好評でした。一つの商品がいかに進化してきたか、マーケットニーズに対応する為に、また商品を陳腐化させない為にデザイナーと製作者が技術を駆使し限界に挑戦する様やロングライフデザインの大切さと物作りの姿勢を熱く語っていただきました。

今回は他協会へ紹介したこともあり、ビジター16名/総参加者数64名と多数のご参加をいただきました。また、ショールームでの懇親会も大いに盛り上がり、和気藹々とした雰囲気のととても有意義なひと時でした。次回は2006年2月頃を予定しており、現在発表企業を募集しております。

法人会員の会 代表幹事

今後のビジョン及び提案を。そして、インテリア空間を既に実践されているこれからの豊かな可能性に、この素材が秘める大きな可能性に、皆さん興味をもたれたようで大変好評でした。

これからのインテリア素材と建築材料としての可能性について、また合せガラスを使った海外のインテリア空間を具体的に映像を交えて見せて頂きました。

記: 法人会員の会 藤本 文明

■ 3分間のタイムスリップ

REGENCY Style 摂政様式 1810 ~ 1830 (正確にはジョージ3世の時代の内皇太子(後のジョージ4世)の時代)

此の時代イギリスでは、フランスの革命以後流行したアンピール(帝政)様式の影響を受けて、古代ギリシアやローマの装飾様式を、考古学的な意味で正確に再現しようとする傾向がみられました。こういった新しい装飾様式をリージェンシー・スタイルと呼んだのです。トーマス・ホープ(1769 ~ 1831)はこの様式の推進者でしたが、彼の設計した家具の多くは、当時の批評家から「単なるベダンティックな古代の模倣にすぎない」と酷評されました。そういった批判も当然で、古代の単なる模倣にすぎないようなリージェンシースタイルの家具は、十九世紀の英国市民の生活にとって必要有りませんでした。ところが、フランスのアンピール様式は、ナポレオンの帝政を権威づけるものとして、自分たちが置かれている立場に照らして、存在理由があったのです。



『ギリシャ考古学博物館クリスモス』



リージェンシーの家具のなかで、古代ギリシアのクリスモス(サイド・チェア)という軽快なデザインをとりいれたいす



ホープのローマ風のデザインを基本にしたマホガニーの丸テーブルなどは、デザイン的にも統一のとれた佳作といつてよい

<< リージェンシーのイス達 >>



『葦肘』



『アンテミリオン飾り』



『獣足リージェンシー』



『エンペラー(ナポレオン)様式』

■ 知って知らない道具づくり

いつも特注家具を作ってもらっている職人さんにカンナの研ぎについての話を聞いた。若い頃、長野民芸(美を追わない仕事、仕事の後から追ってくる美、と云われた河合寛次郎)の草創期の頃、黒田辰秋(人間国宝)氏から、カンナを見せてみると云われ、自分が研いだカンナを見せたところ“誰のだ”といわれ“私のです”と答えたら、それ以降カンナカケは自分の役目になったそうで、当時としては砥石を見れば道具の見当がつく、道具が駄目なら腕も駄目それが当時の職人の見分けかただった。“砥石の王様は「京都鳴滝正本山合砥」の梨地が最高だそうですね”と聞くと、刃物との相性があって砥石が突っ張ってビリ付いたり刃がつきにくいことがあるので一概には言えないと思う。腕のよい職人は何枚も砥石を持っていて使い分けているようだ。他に名倉という石を使い研ぐ方法がある。それは硬めの天然仕上げ砥石を使う場合、仕上げ用の天然砥石に水をたらし、砥石表面で名倉を擦り研磨材の含まれた、名倉

の汁を出します、この汁を使い研磨すると、早く良い刃をつける事が出来るようで、名倉砥の産地は、(愛知県北設楽:きたしたら)郡三輪村砥山であって、土地の伝説では、平家の落武者、名倉左近が刀を研いで見て発見したと言われている。通常砥石自体は、砥石表面が磨り減るのより遅く砥石の中の石英は減って行きます。つまり石英の頭が少し砥石面から出っ張っている状態です。この目には見えないような石英の出っ張りで刃先を研磨しているのです。この出っ張りの石英の小ささがきめが細かいかという意味で、名倉に含まれる研磨材は天然の仕上砥石と同じく石英、雲母が多いと云われています。平板を削るのに4寸カンナから5寸カンナを使うのだが、左右の角が立っていると板に筋がつく、そこで砥石で丸山のように研ぎ出すのが一苦労だった。



『刀剣の研ぎにも使われるコマ』

■ 「ウィリアム・モリス展 —モリスのインテリアデザイン—」開催中!

W・モリス(1834~96)は19世紀英国で最も傑出した芸術家・思想家。当初建築を志したが転向、美術・工芸・テキスタイル・印刷など多岐に亘る分野での創活動に一生を捧げ「近代デザイ

ンの父」と言われている。本展では、オリジナルの壁紙や自然染料でプリントされたカーテン生地や織物、サセックス・チェア等の家具調度品、照明器具、タイル、書籍、そして英国各地の教会のステンドグラス(ミニチュア)を一堂に展示しました。近代デザイン・美術・建築の潮流の原点を体感し、ものをつくる喜び、使う喜びを再考するまたとない機会です。是非ご来場下さい。展覧会名:「ウィリアム・モリス展 —モリスのインテリアデザイン—」会場: 松下電工汐留ミュージアム 期間: ~12月4日(日)まで 開館時間: AM10時~PM6時(入館はPM5時30分まで) 休館日: 毎週月曜日 入館料: 一般500円・大高生300円・中小生200円(税込)(65歳以上高齢者証明をご提示の方400円※障害者証明ご提示の方無料) 予定イベント: ギャラリートーク: 11月19日(土)15時~

ミュージアム内(無料) 講演会:11月26日(土)14~16時・5Fホール(無料:往復ハガキで予約制・定員150名) 申込方法: 往復葉書に(1)講座名(2)参加人数(3)氏名(4)住所(5)電話・FAX(6)年齢(7)職業を ご記入の上、〒105-8301 東京都港区東新橋1-5-1 松下電工ビル4F 汐留ミュージアム「モリス展係」までお送りください。受付は先着順、定員になり次第、受付を終了させていただきます。

PHOTOGRAPH OF WILLIAM MORRIS, 1889



STRAWBERRY THIEF PRINTED COTTON 1883 ©

岡田優(Yutaka Okada)
松下電工株式会社
デザイン部

■ 入会者の報告

入会(正会員)佐藤 勉 / 太田憲次 / 須藤慶一 / 寺沢 広 (法人会員)(株)MEDI / ノエシス(株) ご入会おめでとう御座います。楽しい情

報委員会でお待ちしています。

■ 編集後記

原稿掲載の依頼が多く来るようになり充実した読み物になりつつあります。連載も

次のタイトルを思案中です。面白い題があればメールをいただけたらと期待しています。

e-mail: info@jipat.gr.jp

情報委員会 編集 井上常雄

発行者: 東京インテリアプランナー協会 会長 中川 誠一 編集者: 情報委員会